

# 2008年度第2四半期決算説明資料

2008年10月28日

川崎汽船株式会社

## A. 2008年度第2四半期決算概要

A-1 決算概要

A-2 業績のポイント

A-3 部門別業績動向

## B. 2008年度業績予想

B-1 通期業績予想・事業別売上高経常利益予想

B-2 通期業績予想のポイント

B-3 通期部門別業績予想

B-4 経営指標の推移

# A. 2008年第2四半期決算概要

## A-1-1. 決算概要

(単位:億円)

連結業績	2008年度					
	1Q実績	2Q実績	上期実績	公表	増減	増減率
売上高	3,495	3,860	<b>7,355</b>	<b>7,000</b>	<b>355</b>	<b>5.1%</b>
営業利益	321	426	<b>747</b>	<b>720</b>	<b>27</b>	<b>3.8%</b>
経常利益	333	418	<b>751</b>	<b>700</b>	<b>51</b>	<b>7.3%</b>
当期純利益	215	296	<b>512</b>	<b>470</b>	<b>42</b>	<b>8.8%</b>
為替レート	¥103.36	¥107.97	<b>¥105.67</b>	<b>¥102.00</b>	<b>¥3.67</b>	-
燃料油価格	\$542	\$662	<b>\$601</b>	<b>\$621</b>	<b>▲\$20</b>	-

【公表比：為替変動(上期)3.67円円安⇒+23億円、燃料油価格変動:\$20/MT安⇒+26億円】

**売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は半期ベースで史上最高益**

## A-1-2. 決算概要 (事業別売上高・経常利益)

(単位:億円)

事業部門		2008年度			公表	増減	増減率
		1Q実績	2Q実績	上期実績			
コンテナ船	売上高	1,488	1,660	<b>3,148</b>	<b>3,140</b>	<b>8</b>	-
	経常損益	<b>▲ 10</b>	<b>▲ 49</b>	<b>▲ 59</b>	<b>▲ 48</b>	<b>▲ 11</b>	<b>▲ 23%</b>
その他海運	売上高	1,724	1,918	<b>3,642</b>	<b>3,290</b>	<b>352</b>	<b>11%</b>
	経常損益	333	446	<b>779</b>	<b>725</b>	<b>54</b>	<b>8%</b>
その他	売上高	283	282	<b>565</b>	<b>570</b>	<b>▲ 5</b>	<b>▲ 1%</b>
	経常損益	10	21	<b>31</b>	<b>23</b>	<b>8</b>	<b>35%</b>
合計	売上高	3,495	3,860	<b>7,355</b>	<b>7,000</b>	<b>355</b>	<b>5%</b>
	経常損益	333	418	<b>751</b>	<b>700</b>	<b>51</b>	<b>7%</b>

## A-2. 業績のポイント

<公表比> 増収(+355億円)・増益(+51億円)

### 増益要因:

- 円安効果
- 燃料単価安
- 燃料消費量削減・合理化効果

(公表上期 700億円 => 実績上期 751億円)

損益変動要因	対公表比
為替変動	23
バンカー変動	26
市況変動	▲ 37
積高変動	▲ 29
コスト増減	58
その他	10
合計	51

# A-3-1. 部門別業績動向

## —コンテナ船—



<計画比> 売上3,148億円(+8億円増収)・損益▲59億円(▲11億円減益)

### 減益要因

- 為替円安(4円安)、バンカー単価(20<sup>F</sup>ル安)・消費量減少<積高減少・平均運賃下落
- 総積高(172.4万TEU), 計画比 ▲2.7% 減
- 運賃率下落

上期(計画比)		北米	欧州	大西洋*	アジア	南北
	往航	▲3%	▲7%	+3%	▲2%	▲6%
	復航	+7%	▲8%	+10%	▲6%	▲3%

\*大西洋往航=西航

## A-3-2. 部門別業績動向 —ドライバルク—

### <計画比> 増収・増益

- 稼動延<sup>ト</sup>107.2百万<sup>ト</sup>

### 増益要因

- 大型船市況： 9月に入り調整局面となるも、8月以前は歴史的な高水準にて推移
- 中型船市況： 総じて高値で推移するものの、9月に入り急落
- 小型船市況： 他船型と同様に足元は弱含みだが、総じて高値で推移

バルク市況 (太平洋ラウンド)	2008年度 第1四半期	2008年度 第2四半期	7月時 計画前提	2008年度 上期
ケープ(170型)	\$165,000	\$115,000	\$130,000	\$140,000
パナマックス(74型)	\$67,000	\$48,000	\$65,000	\$57,500
ハンディ(53型)	\$57,500	\$40,500	\$50,000	\$49,000



## A-3-3. 部門別業績動向 —自動車船—

---

### <計画比> ほぼ計画通り

- 積台数(含む欧州域内): 176.2万台
- 輸送能力増強に伴う積高増加
  - 北米向け貨物は減速傾向となったものの、効率配船により積高増加
- 需要の伸びが大きい中国・インド・中近東・南アフリカ向け貨物を積極的に取込み
  - 中南米・カリブ、中近東・アフリカ向け、三国間輸送の荷動きは引き続き旺盛
- 燃料油価格高騰の中での効率配船により、輸送コストの最小化

# A-3-4. 部門別業績動向

## －エネルギー資源輸送－

<計画比> ほぼ計画通り

液化ガス運搬船 : 上期中に当社関与プロジェクト船 8隻竣工  
プロジェクト船 合計 41隻順調に稼動

油槽船: Aframax・クリーン船市況が見込を大きく上回る水準で推移  
営業規模拡大 (上期中に新造LPG船 1隻竣工)  
稼動延トン 2,303.4万トンに拡大

油槽船市況 (WS)	2008年度 第1四半期	2008年度 第2四半期	7月時 計画前提	2008年度 上期
VLCC (中東/日本)	174	133	200	154
Aframax (南方/日本)	195	235	217	215
クリーン7万トン型 (中東/日本)	193	327	240	260

# A-3-5. 部門別業績動向

## －その他事業部門－

---

### (重量物船事業)

<計画比> 計画通り

- － 好調なインフラ整備需要や石油精製設備建設需要により、高稼働率を維持

### (内航・フェリー)

<計画比> 増収・増益

- － 定期船、不定期船ともに旺盛な需要
- － 燃料油価格の更なる上昇により、運航コストの増加

### (物流事業)

<計画比> 計画通り

- － 北米向け航空貨物の荷動きが低迷

## B. 2008年度業績予想

# B-1. 通期業績予想・

## 事業別売上高経常利益予想



(単位:億円)

連結業績	2008年度				
	上期実績	下期予想	通期予想	第1四半 期決算時 公表	増減額
売上高	7,355	6,445	13,800	14,000	▲ 200
営業利益	747	333	1,080	1,240	▲ 160
経常利益	751	299	1,050	1,210	▲ 160
当期純利益	512	198	710	780	▲ 70
配当	¥13.5	¥11.5	¥25	¥27	▲ 2
為替レート(平均)	¥105.67	¥100.00	¥102.83	¥101.00	¥1.83
燃料油価格(平均)	\$601	\$500	\$550	\$685	▲\$135

(単位:億円)

事業部門		2008年度		
		上期	下期	通期
コンテナ船	売上高	3,148	2,852	6,000
	経常損益	▲ 59	▲ 130	▲ 189
その他海運	売上高	3,642	3,088	6,730
	経常損益	779	416	1,195
その他	売上高	565	505	1,070
	経常損益	31	13	44
合計	売上高	7,355	6,445	13,800
	経常損益	751	299	1,050

【2008年度年間配当25円、下期11.5円、連結配当性向22%】

【為替変動(下期):1円増減⇒±3億円、燃料油価格変動:\$10/MT変動⇒8億円】

## B-2. 通期業績予想のポイント

<公表比> 減収(150億円)・減益(160億円)

前提:燃料油価格\$685⇒\$550、為替¥101⇒¥103、バルク市況大幅下落

(08F公表 1,210億円 ⇒ 08F通期予想1,050億円)

損益変動要因	対公表比
為替変動	17
バンカー変動	214
市況変動	▲ 495
積高変動	▲ 35
コスト増減	183
関係会社	▲ 32
その他	▲ 12
合計	▲ 160

【為替変動(下期):1円増減⇒±3億円、燃料油価格変動:\$10/MT変動⇒8億円

# B-3-1. 通期部門別業績予想



## <コンテナ船>

計画比：売上6,000億円(計画通り)・経常利益▲189億円(+16億円改善)  
運賃率下落、積高減少<燃料単価・消費量等コスト削減効果で相殺

概況： 南米航路、北米航路西航(北米からの輸出)荷動き好調  
欧州航路、北米航路東航の荷量減、欧州航路運賃下落懸念

積高： 348万TEU (計画比▲2% 前年比+8%の増加を見込む)

運賃率：

通期見込み(計画比)	北米	欧州	大西洋*	アジア	南北
往航	▲8%	▲12%	▲3%	▲4%	▲6%
復航	▲5%	▲14%	+3%	▲6%	▲6%

\*大西洋往航=西航

## B-3-2. 通期部門別業績予想

### <ドライバルク> 計画比 減収・減益

不定期船市況の下落>燃料油価格の下落

バルク市況 (太平洋ラウンド)	上期実績	第3四半期 見込	第4四半期 見込	下期見込	7月時 計画前提
ケープ(170型)	\$140,000	\$10,000	\$30,000	\$20,000	\$130,000
パナマックス(74型)	\$57,500	\$8,000	\$15,000	\$11,500	\$65,000
ハンディ(53型)	\$49,000	\$8,000	\$12,500	\$10,250	\$50,000

### <自動車船> 概ね計画通り

悪化要因:北米・欧州向け荷動き減退

改善要因:最適船型投入による効率配船、燃料油価格下落



## B-3-3. 通期部門別業績予想

### <エネルギー資源輸送> 計画比 増収・増益

LNG 08F期中に新造船14隻が竣工。当社関与船隊は47隻と拡大  
油槽船 船隊規模拡大 (08F期中に合計5隻の新造船竣工)  
Aframax・クリーン船市況の高値圏での推移

油槽船市況 (WS)	上期実績	下期見込	7月時 計画前提 (下期)
VLCC (中東/日本)	154	110	170
Aframax (南方/日本)	215	210	185
クリーン7万トﾝ型 (中東/日本)	260	230	180

### <重量物船事業> 計画通り

08F期中に新造船3隻竣工、運航規模拡大  
重量物輸送の船腹需給は引き続き堅調、運賃水準は安定

## B-4. 経営指標の推移

	2007年度 実績	2008年度 上期実績	2008年度 予想	2008年度 計画*
売上高	13,310億円	7,355億円	13,800億円	13,400億円
経常利益	1,259億円	751億円	1,050億円	1,210億円
当期利益	830億円	512億円	710億円	780億円
営業CF	1,412億円	546億円	950億円	—
(減価償却額)	348億円	193億円	418億円	—
投資CF	△1,455億円	△1,156億円	△1,550億円	—
フリーCF	△43億円	△610億円	△600億円	—
自己資本	3,558億円	3,942億円	4,084億円	4,260億円
有利子負債残高	3,297億円	3,953億円	4,069億円	—
自己資本比率	37%	37%	37%	37%
ROA	13%	14%	10%	12%
DER	93%	100%	100%	100%
有利子負債/営業CF	2.3	3.6	4.3	—